

年間スケジュール



海外で実施する鳥取大学Global Gateway Programは、夏期・春期プログラムに合わせて年2回募集を行います。

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
夏期プログラム募集・説明会	選考・結果	事前研修 Lunch Time World Cafe		夏期プログラム実施 メキシコ海外実践教育プログラム実施	事後研修	春期プログラム募集・説明会	選考・結果	事前研修 Lunch Time World Cafe		春期プログラム実施 ウガンダ海外実践教育プログラム実施	事後研修

大学主催のプログラムで安心・安全



大学主催だから初めてでも安心!

徹底した事前・事後研修で留学中の学びを確実なものにし、次なるステップアップを促します。

事前研修

留学

事後研修



- 留学先情報の収集
- 事前英語学習
- 安全管理の指導



- 現地学生との交流
- 現地で学ぶ語学



- 留学経験の振り返り
- 将来への目標設定

充実した

給付型奨学金制度

JASSOや大学、学部から留学のための返済不要の奨学金給付制度

一例) メキシコ12万円 (H30年度実績) 条件を満たせば渡航支援金制度(16万円)の供給も可



国際交流や留学に関する情報はこちら



- 鳥取大学国際交流・留学情報ホームページ
<https://www.ciatu.tottori-u.ac.jp/ja>
- 語学シャワー室前や学生会館2階の掲示板
最新情報はポスターでも掲示しています。
- Facebook
「鳥取大学グローバル・国際交流情報」
<https://www.facebook.com/tottoriglobal/>

- グローバルデスク
学生団体 G-frenz が語学シャワー室(共通教育棟1階)にて平日昼休みに皆さんの留学相談を受け付けています。
- 国際交流センター・国際交流課(共通教育棟B棟1階)
留学についての相談を随時受付! お気軽にお越しください。
- 学生ブランドマネージャー(トビタテ!留学JAPAN OB)
短期から長期留学まで、学生目線で留学したい学生を応援します。

お気軽にご相談ください

鳥取大学

GLOBAL GATEWAY PROGRAM



!今しかできない経験!



行ってみないと分からない!
あなたの「新たな一歩」を大学が後押しします!

お問い合わせ先

鳥取大学
Tottori University

国際交流課国際戦略推進室
〒680-8550鳥取市湖山町南4丁目101

TEL / 0857-31-5052
<https://www.ciatu.tottori-u.ac.jp/ja>



2019.3.5500

TOTTORI UNIVERSITY Global Gateway Program





留学に興味はあるけれど、何からはじめればいいのかわからない、
行きたいプログラムがなかなか決まらない etc…
レベルや目的で、自分に合ったプログラムを見つけよう!

さらに
STEP UP!
長期プログラム・
専門性を高める
プログラムに
挑戦!

プログラムの種類	初級レベル	中級レベル	上級レベル
海外実践プログラム			鳥取大学 ITP P12
			交換留学 P11
語学・多文化共生力プログラム		各学部の専門教育で実施する海外プログラム P16-19	
		メキシコ海外実践教育プログラム P6	
語学プログラム		ウガンダ海外実践教育プログラム P7	
		マレーシアマラヤ大学英語研修(春・夏) P8	
		台湾銘傳大学英語研修(春) P8	
国内英語イメージプログラム P14		カナダ英語研修(夏) P9	
		アメリカ英語研修(春・夏) P9-10	
		オーストラリア英語研修(春) P10	

※渡航先の状況等により、計画が変更になる可能性もあります。

P6~7

海外実践教育プログラム

メキシコ海外実践教育プログラム

研修先: 南バハカリフォルニア自治大学
メキシコ北西部生物学研究センター

期間 8月~9月 (約2ヶ月) | 費用 約30万円

奨学金あり 12万円

こんな人にオススメ

- 2か月程度の中期で海外に滞在してみたい
- 英語力に加えてスペイン語も伸ばし、異文化理解力を高めたい
- 新興国が抱える課題を様々な角度から学びたい

ウガンダ海外実践教育プログラム

研修先: マケレレ大学

期間 2月~3月 (約3週間) | 費用 約35万円

奨学金あり 6万円

こんな人にオススメ

- 語学を学ぶのではなく、語学を使って専門的な勉強をしたい
- フィールドに出て実践的に学びたい
- 他人とは違う体験をしたい
- 新興国での経験とおしてグローバルな感覚を磨きたい
- 国際協力に興味がある
- 外国の子どもたちと交流したい

P8

多文化共生力プログラム

夏期・春期マレーシアマラヤ大学英語研修

研修先: マラヤ大学

期間 夏期:8月~9月 (約4週間) | 費用 約25万円
春期:2月~3月

奨学金あり 7万円

こんな人にオススメ

- 現地学生と交流したい
- 歴史・文化を満喫したい
- 安い費用で留学したい
- 海外を知り、日本について伝えたい

春期台湾銘傳大学英語研修

研修先: 銘傳大学桃園キャンパス

期間 2月~3月 (約3週間) | 費用 約20万円

こんな人にオススメ

- 鳥大生と一緒にいきたい
- 初めての海外

P9~10

短期語学研修

夏期カナダ英語研修

研修先: ウォータールー大学レニソンカレッジ

期間 8月~9月 (約4週間) | 費用 約50万円

こんな人にオススメ

- 語学を短期集中で勉強がしたい
- 夏休み・春休みを使って1か月程度渡航したい

春期オーストラリア英語研修

研修先: アデレード大学

期間 2月~3月 (約4週間) | 費用 約50万円

こんな人にオススメ

- 鳥大生と一緒にいきたい
- 初めての海外

夏期アメリカ英語研修

研修先: カリフォルニア大学デービス校

期間 8月~9月 (約4週間) | 費用 約55万円

春期アメリカ英語研修

研修先: アーカンソー大学

期間 2月~3月 (約4週間) | 費用 約55万円

P11

交換留学

こんな人にオススメ

- 外国の大学の現地学生と混ざって自分の専門分野を勉強したい
- グループではなく単独で渡航したい
- 半年または1年程度の長期留学をしたい
- 休学せずに留学したい
- 実践力のある語学力を身につけたい

P12

鳥取大学インターナショナル・トレーニング・プログラム(TU-ITP)

修士課程学生対象

こんな人にオススメ

- 長期の海外滞在をしたい
- 研究活動に従事したい
- 多国籍教師陣の英語による研究指導を受けたい
- 多国籍の学生と一緒に切磋琢磨したい!

研修期間: コースワーク(10月、3週間) | フィールドリサーチ(5ヶ月~11ヶ月)

派遣先: イタリア地中海農学高等研究センター、パリー地中海農学研究所、中国科学院西北生態環境資源研究所、ヨルダン国際乾燥地農業研究センター など

P13

トビタテ! 留学 JAPAN 日本代表プログラム

こんな人にオススメ

- インターンシップ等を含むオリジナルの留学がしたい
- 充実した奨学金支援を受けたい
- 他大学のトビタテ生とネットワークを作りたい

P14~15

国内プログラム

P16~19

学部別プログラム

先達のロードマップ
海外実践教育プログラム
多文化共生力プログラム/短期語学研修
交換留学
TU-ITP / トビタテ! 留学 JAPAN
国内/学部別プログラム

先輩の留学ロードマップを見てみよう！



鳥取大学でどんな国際経験ができるの？留学して良かったことは？

行ってみなければ分からない！実際に留学した先輩を参考に、自分のプランを考えてみよう！

地域学部



舘脇 成美

地域学部地域文化学科
(2015年度入学)

海外へ出てみることは、自分について考える良いきっかけになると思います。海外に出てみたいという思いがあれば、プログラムにかかわらず、自分の足で行ってみることをお勧めします！



海外初渡航！外国語を話したり、理解したりすること、多文化の中で生活することの楽しさを学びました。

ハンリム大学
韓国研修に参加

以前から好きだった英語を勉強したり、海外短期プログラムに参加することを考えていました。

大学1年

厦門大学
中国研修に参加

大学2年

厦門大学に交換留学

韓国と中国を行き来しながら、中国についてもっと知りたいと思うようになり、留学を決意。半年間の留学は自分の生き方を考えるきっかけにもなりました。

梨花女子大学の研修は2度目の参加。韓国語・中国語・日本語を使って、現地の学生たちと交流！

梨花女子大学
韓国研修に参加

大学4年



現在は…

現在は主に卒業論文作成と中国語を勉強しています。卒業後は、日本と中国の文化交流を手助けする架け橋となって、大学生生活で得たものを生かして、頑張ります！

医学部



佐竹 果奈

医学部医学科
(2015年度入学)

大学時代をどのように過ごすかは、個人の自由だと思います。でも、もし興味があるのなら、とりあえず親にお金を借りてでも、行ってみる事です。自分の世界がすごく広がります。辛い経験も意外と乗り越えられます。



将来働き出したら稼げるので、長期休暇をバイトではなく、海外研修参加を決意。特に理由もなく台湾を選択！

台湾銘傳大学
英語研修に参加

高校時代から英語は好きでした。機会があれば海外行きたいな…くらい。1年生の長期休暇はバイト漬け。ちょっと退屈でした。

大学1年

アメリカ研修は語学力的にも精神的にも一番成長できた研修でした。後1年間くらい滞在できたらいいのにな…と。20歳代が20年間くらい欲しい気分です。

春期アメリカ
英語研修に参加

大学3年

夏期マレーシアマラヤ大学
英語研修に参加

研修に参加する事で、海外だけでなく、日本の他大学の友達もたくさん増えました。自分の視野が大きく広がる事に気がきました。いろいろな人との出会いがすごく刺激的でした。

フィリピンのクリニックで糖尿病の方々と交流しました。これまでに、参加してきた研修でいろいろな人と関わる機会が多かったので、その経験が生かされたと思います。

出る杭プロジェクトで
フィリピン共和国の
糖尿病クリニックを訪問

大学4年



卒業後は…

英語研修は、人とのつながりの大切さや自分から行動を起こすことの大切さを学びました。チャレンジ精神とか、いろんな事を恐れない気持ちが強くなりました。卒業後も、海外や日本全国の友達とは交流を続けていきたいです。自分がこれから医者となる上で、きっといい刺激を与え続けてくれるに違いないと確信しています。

農学部



深井 彩代

持続性社会創生科学研究科
国際乾燥地科学専攻
(2017年度入学)

同じ景色をみても、感じることは人それぞれ。テレビやネットの情報じゃなくて、自分で海外に出て実際に感じてほしいなと思います。何事も経験、ぜひ海外プログラム参加してみてください！



語学を話せるようになりたいと研修へ。外国人も日本人も友達ができ、英語を使ったコミュニケーションの楽しさを知りました。

夏期マレーシア
マラヤ大学英語研修
に参加

大学2年

学内の語学強化コースに参加

大学1年



国際乾燥地
農業実習に参加

大学3年

ウガンダ海外実践教育
プログラムに参加

大学4年

大学院進学

初めてのウガンダ、自分の固定概念を崩してくれ、改めて海外へ行きたいと感じました。

海外で実際に研究をした約1年、中東ヨルダンに滞在。英語や研究、文化や宗教の知識を得て、自分自身が大きく成長できる機会になりました。

鳥取大学
インターナショナル・
トレーニング・
プログラム(TU-ITP)に参加

大学4年

現在は…

今は修士論文の研究や論文の発表に追われる毎日です。海外というフィールドで、今後は仕事で活躍できるように、日々精進していきたいと思っています。



工学部



西澤 息吹

工学部化学バイオ系学科
(2016年度入学)

大学生活を振り返ると、「人生は一度きり！」という言葉にいつも背中を押されてできるだけ活動に参加しました。一度きりの人生、楽しまなくちゃ損！一歩進むだけで、次々新しい世界が見えてくるから、何でもチャレンジしてみよう！



ホームステイで海外での暮らしをしてみたいと思い、オーストラリア研修に参加。クラスメートが非常に多国籍で、ノンネイティブでも堂々と英語を話していることに衝撃を受け、「伝える気持ち」が大切だと気づきました。

オーストラリア
英語研修に参加

入学時は全く語学や留学に興味がありませんでしたが、「大学では自分から動かないと始まらない」と教わり、平凡な人生を変えるために生協の英語コミュニケーション講座に参加。

大学1年

大学生協
オーストラリア・シドニー
異文化体験ツアーに参加

世界の大きさと、異文化の魅力を知りました。また、自分の英語力のなさを痛感しました。

留学しない期間も学内で様々なプログラムに参加し、常にグローバルな刺激を受けます。

国内英語イメージ
プログラムに参加

語学強化コースで
継続的に英語を学習
スペイン語コース
にも挑戦

大学2年

大学3年

G-frenzで活躍

国内でも常に国際交流に触れていたかったのでG-frenzに所属。たくさんの方と友達ができ、違いをたくさん発見し、違いを純粋に楽しむことができました。

大学4年

現在は…

たくさん経験が自信になったので、自分の好きなことを何でも進んでやっていきたいです。サイエンスコミュニケーターという夢を目標に、専門性を身につけ、視野をさらに広げ、トビタテや青年海外協力隊などに挑戦していきたいです。

英語圏ではない国で、「伝えたい気持ち」だけでどれだけ自分の力が通用するのかわかりたくてメキシコへ留学。専門分野ではない勉強を通して、自分の世界、視野が広がりました。自分を見つめなおし、サイエンスコミュニケーターという夢を見つけました。

メキシコ海外実践教育
プログラムに参加

大学4年

現在は…

たくさん経験が自信になったので、自分の好きなことを何でも進んでやっていきたいです。サイエンスコミュニケーターという夢を目標に、専門性を身につけ、視野をさらに広げ、トビタテや青年海外協力隊などに挑戦していきたいです。

大学4年



現在は…

たくさん経験が自信になったので、自分の好きなことを何でも進んでやっていきたいです。サイエンスコミュニケーターという夢を目標に、専門性を身につけ、視野をさらに広げ、トビタテや青年海外協力隊などに挑戦していきたいです。

大学4年

現在は…

今は修士論文の研究や論文の発表に追われる毎日です。海外というフィールドで、今後は仕事で活躍できるように、日々精進していきたいと思っています。

大学4年

現在は…

今は修士論文の研究や論文の発表に追われる毎日です。海外というフィールドで、今後は仕事で活躍できるように、日々精進していきたいと思っています。

大学4年

現在は…

今は修士論文の研究や論文の発表に追われる毎日です。海外というフィールドで、今後は仕事で活躍できるように、日々精進していきたいと思っています。

大学4年

現在は…

今は修士論文の研究や論文の発表に追われる毎日です。海外というフィールドで、今後は仕事で活躍できるように、日々精進していきたいと思っています。

* 学部プログラム。詳細はP16~19を参照ください。



メキシコ海外実践教育プログラム

中～上級



研修内容・特徴

「タフで実践力のあるグローバル人材」の育成を目指した実践教育カリキュラム

実践能力

地域学・医学
工学・農学

講義

専門知識

社会文化・農業自然

フィールドワーク

外国語

トリリンガル能力

英語・スペイン語



主な研修先

南バハカリフォルニア自治大学(UABCS)
メキシコ北西部生物学研究センター(CIBNOR)等
(メキシコ合衆国南バハカリフォルニア州ラパス市)

宿泊先

CIBNORの宿舎

研修期間

約2ヶ月間
(8～9月)

参加費用

約30万円(プログラム実施費用の一部を負担)

募集人数

15名程度

単位認定・・・海外実践教育科目として履修します

奨学金申請可・・・12万円(JASSO)

参加学生コメント

当初は、日本とは全く違う気候や文化、言葉の壁を感じ戸惑いの連続でした。友達や先生、ホストファミリーの支えに、人の優しさや温かさを改めて実感しました。語学力は留学前とは比べものにならないほど向上しました。また、メキシコの文化や社会、農業など幅広い分野の知識を得ることができました。メキシコで教わった最も大切なことは、自分自身と向き合うことです。今の自分には何ができて、何ができないのか、自分を冷静かつ客観的に見ることができました。ここで気づいたことは日本で普通の生活を送っていたら、決して気づかずに見過ごしていたことだと思います。この気づきを忘れずに、今後の学生生活、そして人生に活かしていこうと思います。

池内 皓大 農学部生物資源環境学科(2015年度入学)



ウガンダ海外実践教育プログラム

初～中級



研修内容・特徴

新興国での開発の基礎的知識と経験の習得をとおしてグローバルな視野を広げる実践教育プログラム

マケレレ大学でウガンダの基礎知識を英語で学ぶ

ウガンダの歴史・文化・外国政策について英語で学ぶ。現地の人と英語でコミュニケーションする。

多彩なフィールド研修

在ウガンダ日本国大使館、JICAウガンダ事務所、病院等訪問や現地高校生との異文化交流



主な研修先

マケレレ大学等
(ウガンダ・カンパラ市)

宿泊先

Grand Global Hotel
(マケレレ大学からバスで5分)

研修期間

約3週間
(2～3月)

参加費用

約35万円

募集人数

12名程度

単位認定・・・海外実践教育科目として履修します

奨学金申請可・・・6万円(JASSO)

参加学生コメント

この研修に参加して海外で働くということを将来の選択肢の一つとして考えるようになりました。そのきっかけとなったのは、JICAの活動を見学したことです。今回、海外で働く多くの日本人や海外で日本の技術が役立っているところを見て誇らしく感じました。なにより、現地の人と一緒に働く姿を見て刺激的だと感じました。また、JICAの人が辛かったことを話して下さった中で、最後に「でも、楽しい!」と言っておられたことが印象的でした。その辛さを超えるものとは何なのか、私もこの身で感じたいと思いました。

市村 香央理 医学部保健学科看護学専攻(2016年度入学)



夏期・春期マレーシアマラヤ大学英語研修 中～上級



研修内容・特徴
マラヤ大学の学生(パディ)と終日英語で過ごす

マラヤ大学の学生がTA(パディ)として授業、生活をサポート

マラヤ大学の学生が参加学生1人につき1人TA(パディ)として参加します。

ココがオススメ! マレーシアと日本の「言語・文化・社会」を協働学習(学び合い)大使館・JICA等も訪問します。

主な研修先	宿泊先	研修期間	参加費用	募集人数
マラヤ大学(マレーシア・クアラルンプール市) 在マレーシア日本大使館、JICA 等	マラヤ大学学生寮 マレーシア人家庭にホームステイもあり	約4週間 (8～9月及び2～3月)	約25万円	20名

単位認定・・・単位認定申請をすることができます 奨学金申請可・・・7万円(JASSO)

参加学生コメント
英語力だけではなく、コミュニケーション力や多文化共生力などあらゆる面での勉強になりました。また、マラヤ大学生の行動力や人間力に圧倒されると同時に、将来、日本人として世界を相手に活躍するためには、彼らのような優秀な学生をお手本として、追いかけて、追い抜かなければならないと感じました。研修中の日常生活やマレーシア観光では、海外の文化に直接触れ、語学研修ということ忘れて、全力で楽しむことができました。その中で、マラヤ大学生との間で絆が生まれ、英語という共通言語を使って意思疎通できることを実感しました。

黒田 大輝
地域学部地域学科(2017年度入学)

春期台湾銘傳大学英語研修 中～上級



研修内容・特徴
銘傳大学はアジア初のアメリカ中部大学教育の認証を取得

4技能の集中トレーニング

読む(Reading) 書く(Writing) 聞く(Listening) 話す(Speaking)

ココがオススメ! 銘傳大学の英語専攻の学生と日本語専攻の学生がTAとしてプログラムに参加し交流ができます。週末はTAと観光スポットを訪問します。

研修先	宿泊先	研修期間	参加費用	募集人数
銘傳大学桃園キャンパス (台湾・桃園市)	銘傳大学(桃園キャンパス)ホテル	約3週間 (2～3月)	約20万円 (滞在期間中の生活費は別途学生負担)	20名

単位認定・・・海外実践教育科目として履修します

参加学生コメント
英語TAさんの英語力に何より驚きました。スムーズに英語が話せるというだけでなく、発音もまるでネイティブのようで、自分の英語力との差を実感しました。英語圏でない国の同世代の学生が、こんなにも上手に英語を喋っていることに刺激を受ける毎日、自分もTAさんのように上手に英語を話せるようになりたい、まだまだ頑張らなくてはいけないという思いが、日を追うごとに強くなっていきました。この3週間の研修で、英語に対する意欲が明らかに変わり、英語がより好きになりました。TAさんがとても親切で、食事や生活面全てサポートしてもらい、とても感謝しています。私も、鳥取大学に来てくれた留学生のサポートをしたいと思います。

岩田 剛
工学部化学バイオ系学科(2017年度入学)

夏期カナダ英語研修 初～上級



研修内容・特徴
読む・書く・聞く・話す・文法・カナダの文化を集中的に学ぶ

1日4時間の英語授業 + ホストファミリーとの暮らし

ココがオススメ! 放課後や週末の充実したアクティビティ(一部オプション)ウォータールー大学の学生との交流も充実

研修先	宿泊先	研修期間	参加費用	募集人数
ウォータールー大学レニソンカレッジ (カナダ・ウォータールー市)	ホームステイ	約4週間 (8～9月)	約50万円	20名

単位認定・・・単位認定申請をすることができます

参加学生コメント
今回が初めての海外、初めての留学だったため、不安しかありませんでした。でも、カナダでの日々は毎日が刺激的で素晴らしい経験ばかりでした。自分に足りない力をこの留学を通してたくさん得られたと思います。ホストファミリーは自分から話しかけないと話してくれない、授業も自分の意見を言う機会が多く、最初の頃は大変でしたが、帰国する時には全て良かったと思えることばかりです。また、毎日イベントがあり、他国の友達もでき、本当に充実していました。留学に難しいイメージをもていましたが、チャレンジすることは大切だと強く感じました。もし留学に興味を持っている人がいるなら、絶対行ってみるべきだと思います。

安田 芽以
農学部生命環境農学科(2017年度入学)

夏期アメリカ英語研修 初～上級



研修内容・特徴
UCデービスの学生がカンバセーションパートナーとしてサポート

1日4時間の英語授業 + ホストファミリーとの暮らし

ココがオススメ! 充実した放課後のアクティビティ週末のオプションツアーも充実(ヨセメテ国立公園・ナババレー・サンフランシスコなど)

研修先	宿泊先	研修期間	参加費用	募集人数
カリフォルニア大学デービス校 (アメリカ・デービス市)	ホームステイ	約4週間 (8～9月)	約55万円	15名

単位認定・・・単位認定申請をすることができます

参加学生コメント
アメリカに行く前の自分は何事にも消極的で、度胸がなく、失敗を恐れて一歩踏み出せず、いつも後悔していました。ですが、今回の留学で、自分のコミュニケーション能力に自信が持てました。今回この研修に参加して人生が変わりました。テレビやスマホで知っていたアメリカと実際に行ってみたアメリカは全然違いました。体験のみが価値観を変えるということを肌で感じる事ができました。本当に参加してよかったです。

山本 唯之
工学部電気情報系学科(2015年度入学)



春期オーストラリア英語研修

初～上級

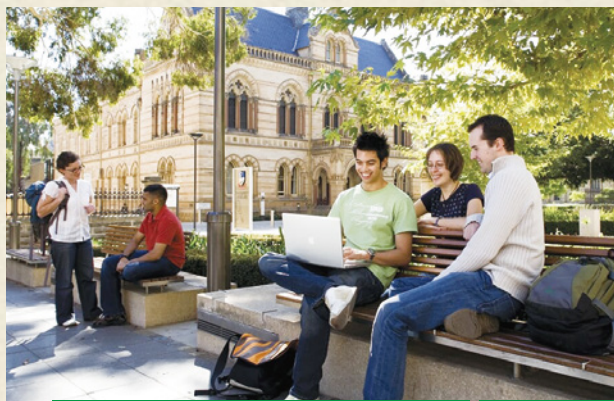


研修内容・特徴

レベル別クラスでの英語学習

- レベル別 **5クラス**
- 1日4時間の英語授業
- 世界各国から参加

ココがオススメ! これまでに5名のノーベル賞受賞者を輩出する、オーストラリア屈指の教育研究機関です。



研修先	宿泊先	研修期間	参加費用	募集人数
アデレード大学 (オーストラリア・アデレード市)	ホームステイ	約4週間 (2～3月)	約50万円	15名

単位認定・・・単位認定申請をすることができます

参加学生コメント

一か月しかないのに、失敗を恐れず、他人を気にせず、いろんなことに積極的に挑戦してみました。まず、話す言語は英語に限定し、外国の人にはもちろん、日本人にも英語で話しかけました。一か月やりきったことで、英語がスムーズに出てくるようになり、日本語に訳さなくてもなんとなく分かるようになりました。英語縛りにして良かったです。次に、町中で知らない人に英語の練習のために話しかけました。オーストラリアの人は親切で普通に返答してくれました。また、アデレード大学のイベントがあれば参加したことで、友人ができ、恐れずに挑戦していくことの大切さを学びました。これからも英語の勉強を続けて、もっとスムーズに会話できるようになりたいです。



仲森 寛晃
農学部生物資源環境学科(2016年度入学)



春期アメリカ英語研修

初～上級



研修内容・特徴

鳥取大学と島根大学の学生のためのプログラム カンパセーションパートナーとの交流

- 1日3時間の英語授業
- ホストファミリーとの暮らし

英会話・コミュニケーション能力の向上を目指します。

ココがオススメ! 日本人学生3・4人に1名のアーカンソー大学学生がカンパセーションパートナーとして参加します。



研修先	宿泊先	研修期間	参加費用	募集人数
アーカンソー大学 (アメリカ・ファイアットビル市)	ホームステイ	約4週間 (2～3月)	約55万円	5名

単位認定・・・単位認定申請をすることができます

参加学生コメント

このプログラムは、ホームステイが魅力のひとつだと思います。家にいる間は、英語しか意思疎通の手段がなく、誰にも頼ることが出来ません。何とかして自分の思っていることを伝えなければという気持ちになりました。学校では学べないアメリカの一般家庭の様子や文化的習慣を知ることができ、海外から日本を見ることができました。文化の違う人を受け入れる寛容な心が持てるようになり、違った文化を知りたいと思うようになりました。



河原 亜季
地域学部地域教育学科(2016年度入学)

協定校の現地学生に混ざって自分の専門分野を勉強しよう!

協定校への交換留学について

これまで培った語学能力を生かして挑戦、長期留学へステップアップ!

交換留学制度とは、本学と学術交流協定を結んでいる海外の大学(協定校)との間で学生を相互派遣・受入する制度です。

POINT /

1 休学なしで留学できる

留学先大学の入学資格を満たし、**鳥取大学に授業料を納めた学生**は、3ヶ月から1年間留学することができます。

POINT /

2 現地学生と一緒に専門科目を学べる

留学先大学では、現地学生が受講している授業と一緒に受講し、単位取得を目指します。
(取得した単位は、本学における授業科目として認められる場合があります)
例) 英語で専門科目を受講、中国語で日本文化や日本の歴史の講義を受講

POINT /

3 語学を実践で使うチャンス

単独かつ長期的な滞在になります。それまでに身につけた英語や中国語等をコミュニケーションツールとして使うことで語学力を飛躍的に向上させます。

交換留学するためにすべき

5 STEP

- STEP 1 情報収集 留学意志決定**
 - 国際交流課・国際交流センター教員へ相談
 - 留学説明会での情報収集
- STEP 2 関係書類の提出**
 - 各学部への「留学願」の提出
 - 鳥取大学みらい基金へ応募
 - 留学許可証の発行

派遣の約半年前までに!
- STEP 3 留学準備**
 - 派遣大学手続き
 - 交換留学先への必要書類提出
 - 先方からの受入許可証発行
 - ビザ申請に必要な書類の入手
 - ビザ申請
 - 航空券の手配、海外旅行保険の加入
- STEP 4 留学中**
 - 渡航(8月もしくは2月。韓国は渡航日指定あり)
 - 在籍確認
- STEP 5 帰国**
 - 帰国報告
 - 「帰着届」を学部へ提出
 - 報告書の提出
 - 単位認定手続き

参加学生コメント

私はマレーシアマラヤ大学英語研修に参加し、マレーシアの多様な文化の在り方に興味を持ちました。その中でも特に私の専攻分野である中華文化について深く知りたいと思い、マラヤ大学への留学を決めました。大学では、東南アジアにおける中華文化・社会に関する講義を英語で受講したり、空き時間に現地の学生から中国語、韓国人留学生から韓国語を教わったりするなど、専攻分野だけでなく言語の学習もしています。留学では短期研修と違い、より自分の目的にフォーカスすることができています。



垣屋 知里
地域学部地域文化学科(2016年度入学)
留学先 マレーシアマラヤ大学
留学期間 2018年9月～2019年1月

交換留学先

鳥取大学の学生は**21の国・地域、64大学等**へ交換留学することができます。(2019年1月1日現在)
主な留学先大学は下記のとおりです。
(交換留学が可能な全大学リストは、ホームページで確認してください。)

過去3年間の交換留学実績のある大学一覧

E が付いている大学では、英語で専門科目を受講することができます。

ウガンダ	ボツワナ	イタリア	中国	台湾
●マケレレ大学 E	●ボツワナ農業天然資源大学 E	●ローマ第三大学(工学研究科のみ)	●北京林業大学 ●廈門大学	●銘傳大学 E
韓国	マレーシア	アメリカ	カナダ	メキシコ
●江原大学校 E ●忠南大学校 E ●釜慶大学校 E	●マラヤ大学 E	●ライス大学 E(工学研究科のみ)	●ウオータールー大学 E(工学研究科のみ)	●南バハカリフォルニア自治大学 ●メキシコ北西部生物学研究センター

年度別派遣交換留学生数(延べ数)

2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
20名	5名	10名	9名	11名

奨学金制度

- 鳥取大学みらい基金**
毎年4月に公募し、受給者を選考します。満たない場合は10月に再募集します。
給付・返還 不要
- トビタテ!留学JAPAN 日本代表プログラム**
(詳しくは13ページをご覧ください)
給付・返還 不要

対象	支給額	募集人数	支給額
日本人学生	15万円 (3ヶ月以上の派遣で、1回限り支給)	10名程度	6～16万円 (留学準備金15万円もしくは25万円、授業料30万円)

乾燥地における統合的資源管理のための人材育成

鳥取大学インターナショナル・トレーニング・プログラム

Tottori University International Training Program
TU-ITP

高い専門性

国際通用性の高いグローバル人材育成

コースワーク(約3週間)

講義受講・研究計画書の修正

フィールドリサーチ(最長11ヶ月間)

野外調査・論文作成

論文審査

講義、研究指導は
全て英語で行われ
論文も英語で作成



乾燥地科学分野の第一線の国際研究機関で勉強・研究する



イタリア
バリー地中海農学研究所



ヨルダン
国際乾燥地農業研究センター



チュニジア
乾燥地域研究所



中国
中国科学院・西北
生態環境資源研究院

TU-ITP 修了生の進路

一夢をカタチに！

IPT修了生は高い国際通用性を身につけ、多くは、国内大手の開発コンサル、国際協力機関などに就職し、世界を舞台にグローバルに活躍しています。

開発・環境コンサル / 日本工営、建設技研インターナショナル、エイト日本技術開発、国際航業、応用地質 等
医薬品、飲料メーカー / ネモト・サイエンス、キリン
国際協力機構、教員、その他

対象	参加支援	自己負担	募集人数
鳥取大学修士課程の学生	JASSO奨学金: 6~8万円/月(派遣先により異なる) 渡航費: 大学負担	海外保険、予防接種など	2名程度

参加学生コメント

IPTへの参加は学部からのプランのひとつで、そのために大学院に進学しました。日本ではできない研究ができること、そして常に刺激のある環境で楽しみたいというのが参加の動機です。毎日夜11時を超えてもほとんどの人が帰らず、研究に向き合う姿勢には最初驚きましたが、これが自分のスタンダードになると思うと嬉しかったです。オフィスの人たちと昼ご飯を食べたり、中国語を教えてもらったり、週末にはカザフスタン、パキスタン、ロシア、エジプト、ウクライナ、モンゴルといった様々な国の仲間と出かけたりと毎日が非常に充実しています。オフィスの中でも一番行動を共にする先輩は、修士3年目(中国では修士は3年)で既に2つ目の論文提出に向けて取り組んでいます。先輩方から多くのことを吸収して、自分も大きな成果を出せるように頑張っています。



青木 稜岳
持続性社会創生科学研究科
国際乾燥地科学専攻(2018年度入学)

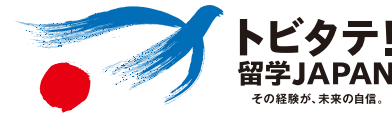
参加学生コメント

私はヨルダンのICARDA(国際乾燥地農業センター)に留学しています。乾燥地の研究を現地ですてみたい!と思ってこのプログラムに参加し、現在は願い叶って、土壌と水に焦点を当てた乾燥地の環境修復・改善技術に関する研究を行っています。ヨルダンでの生活は、ごはんおいしい、気温も暖かい、最高です。研究所の人たちはすごいばかりで研究に集中できる最高の環境が整っています。毎日が挑戦という感じですがとても楽しいです。信じられない方はぜひどうぞ!

秋本 弘太 持続性社会創生科学研究科国際乾燥地科学専攻(2018年度入学)

社会で求められる人材・世界で活躍できる人材へ

トビタテ! 留学JAPAN 日本代表プログラム



- 留学プランを自分で設計できる
- 産・官・学協働で2020年までに約1万人の日本人学生の海外チャレンジを応援

奨学金返済
不要

留学期間	対象	奨学金	留学準備金	授業料
28日以上2年以内 (3ヶ月以上推奨)	30歳以下の日本国籍もしくは 永住権を持つ学部生・大学院生(修士・博士)	月:16万・12万・6万	15万・25万	年間30万円



9期までに19名の学生が鳥取大学から世界各地へ飛び立ち切磋琢磨しています。

応募希望の学生、留学中、帰国した学生が一体となり、お互いの夢を応援し合っています。

留学は、学びを深めるだけでなく、自身の視野を広げるチャンスです。是非、私たちと一緒に新しい一歩を踏み出しましょう!



深内 百合子
持続性社会創生科学研究科
農業専攻(2018年度入学)

バックグラウンドが全く違う友達がたくさんできます。文化の違いに悩む時もあったけれど、それもまた貴重な経験であり大切な思い出です!

- 留学先** ボツワナ共和国(南部アフリカ)
- 留学時期** 修士1年10月から10か月間 交換留学(休学なし)
- 活動** ボツワナ産ササゲにおける遺伝的多様性の解析(研究インターン)



小山 菜々子
工学部 化学バイオ系学科
(2016年度入学)

世界にはいろんな人がいて、それぞれの考え方や文化があって、毎日たくさん刺激を受けながらワクワクする生活をしています!そして何より、自分を見つめ直す良い時間になっています!

- 留学先** カナダ(バンクーバー)
- 留学時期** 学部3年9月から1年間(休学)
- 活動** メンタルヘルスケア施設でのボランティア活動



只野 翔大
連合農学研究所国際乾燥地科学専攻
(2018年度入学)

留学は大変なこともあるけど、それ以上に、行った人しか得られないものがたくさんあります。

- 留学先** ドレスデン工科大学(ドイツ)
- 留学時期** 博士1年10月から6か月間(休学なし)
- 活動** 研究インターンシップ



木下 功太郎
農学部 生物資源環境学科
(2015年度入学)

行ってみたいとわからなかったら、世界が広がってました。そんな留学経験が日本に帰ってきてからの研究テーマや取り組みの原動力になっています。

- 留学先** ウガンダ
- 留学時期** 学部2年2月から1年間(休学)
- 活動** 現地農家、パイヤーを対象とした市場調査、農業調査等



迫本 拓也
持続性社会創生科学研究科 工学専攻
(2018年度入学)

多くの失敗や苦勞、挫折をしますが、「最高の出会い」、「掛け替えのない思い出」を作ることができます!

- 留学先** オランダ・デルフト工科大学
- 留学時期** 修士1年9月から6か月間(休学なし)
- 活動** 断続的な水供給システム下での安全な水供給方法の提案

先輩のロープワープ 海外実践教育プログラム 多文化共生力プログラム/短期語学研修 交換留学 TU-ITP / トビタテ! 留学 JAPAN 国内/学部別プログラム

＼ 日本で学べる ＼

語学向上のための国内プログラム

「海外に行くのに今の英語力では不安」「語学を勉強したいけど、研修費用が高くて難しい・・・」
そんな学生のサポートをするために、鳥取大学が国内で実施している語学向上プログラムを紹介します。
授業以外での継続した語学学習が英語力を伸ばす第一歩です！



国内イマージョンプログラム

初～上級

研修内容・特徴

2日～4日間程度の短期集中英語研修

週末や夏・春休みを利用した短期集中英語研修で、ネイティブスピーカー講師の指導による英語づけ(immersion=没頭・浸すこと)により英語の実践能力及び国際理解力の向上を目指します。研修期間中は英語のみを使用し、年4回ほど実施されます。本学の留学生がTAとして参加し、会話練習やプレゼンテーション作成のサポートをします。

- 英語でディスカッションできる機会が多かった。
- 2日と短い期間でも英語力が向上した。
- 英語を話すことを恐れなくなった。
- 他の参加者から積極的に発言する姿勢を学べた。
- 英語だけの生活の雰囲気を感じることができた。留学のイメージが少し湧いた。
- TAや先生の他、学生とも英語でたくさん話せたので、今後の学習意欲が湧いた。



研修先	参加費用	募集人数
鳥取大学鳥取キャンパス等	無料～約2万円	約20名



語学強化コース [英語・中国語・スペイン語]

初～上級

研修内容・特徴

週に2回継続して学べる実践的語学力

海外留学、海外派遣プログラムおよび海外実践教育プログラムへの参加のために実践的語学力の向上を図りたい学生、持続的に実践的語学力の強化を図りたい学生を対象に開設するSpeakingを重視したコースです。お昼休みまたは放課後に開催されます。海外プログラム参加後の語学力維持＆ブラッシュアップのためにも参加してください。

学べる言語

前期

- 英語 (初級、中級、上級)
- スペイン語 (初級、中級)

後期

- 英語 (初級、中級、上級)
- 中国語 (初級、中級)



研修先	参加費用	募集人数	研修期間
鳥取大学鳥取キャンパス等	無料	定員なし	前期・後期の昼休みまたは放課後

LUNCH TIME WORLD CAFE

ランチタイムワールドカフェ

Global Gateway Programに参加した学生が帰国後、自分たちの活動を振り返り、それぞれの経験を共有する場です。プログラムを通して学んだこと、感じたことなどを英語で発表しています。プログラムでどんな体験ができるのか、実際に参加した学生の生の声が聞ける貴重な機会にもなっています。



＼ GLOBAL CAMPUS LIFE IN TOTTORI UNIVERSITY ＼

鳥取大学グローバルキャンパスライフ

G-frenz

G-frenzは鳥取大学国際交流センターと国際交流課に所属する学生団体です。本学の国際交流活動の企画や留学生の学習・生活のサポートと日本人学生の留学のアドバイスを行っています。G-frenzは日本人学生と留学生がメンバーとなっています。多様な背景を持つ留学生と日本人学生が互いの言葉や文化を学びあうことができます。

G-frenzは、留学を考えている日本人メンバーにとっては留学(語学研修や交換留学など)前に海外のことを知る場となります。海外渡航経験を直接、聞くこともできます。海外研修参加後にメンバーとなる学生は、海外でお世話になったことの感謝の気持ちを込めて、海外との繋がりをさらに深める活動をするためにG-frenzに参加する人が多いです。



メンバーコメント

- 鳥取でも異文化経験が出来る。
- 宗教・文化・国民性などの違いがあるからこそ、みんなとの触れ合いが楽しい。
- 常に留学生と会話するので、その国に興味を持ち、毎日刺激を受ける。
- G-frenzでの活動は、まさにGlobal人材になるために重要な活動。

日本語パートナー

日本人学生が、留学生のための日本語授業でサポートを行う「日本語パートナー制度」があります。パートナーに登録した日本人学生は、本学の日本語授業に参加し、漢字の書き取りや会話の練習などのサポートをします。本学には、世界各国からの留学生、研究生が留学しているので、日本語の授業に参加するとうした留学生と交流することができ、友達になれます。また、「パートナーシップ制度」では、留学生と日本人学生がパートナーとして、授業以外の場で交流を行います。授業の空き時間や休日に、お互いの国の文化や言葉を教えあったり、一緒に遊びに行ったりして留学生との関係づくりができます。

パートナー学生と友達になった留学生が帰国した後も、お互いに連絡を取り合っているパートナーがほとんどです。本学での日本語パートナーとパートナーシップでは、ここを通じて関係がその後も長く継続しています。



メンバーコメント

- 日本語パートナーの活動はお金をかけずに海外の方々と関わることができ、とても楽しい。
- 留学生が日本語を懸命に学ぶ様子を見て、自分自身の語学学習の意欲向上につながった。
- 様々な文化に触れることができ、毎回新鮮。

地域学部プログラム

I. 海外フィールド演習

奨学金申請可



アジアや北米をフィールドに地域学の様々な分野について実際の現場で英語での調査を行います。また各地の学生達との交流やワークショップを行い、国際理解力やコミュニケーション力を培います。

1 ベトナム・フェプログラム



研修先 フェ大学(ベトナム・フェ)
演習内容 農村コミュニティと地域文化の調査、フェ大学学生との交流を行います。

対象	募集人数	日程	参加費用
地域学部1年生以上 (単位認定ありだが1年生は卒業単位には含めず)	8名程度	2月下旬～3月上旬 (約10日間)	約12万円

● 思いを言葉と行動で伝え合う。 ● ベトナムの学生たちに「日本語を教えてよ」と言われ、英語でお互いの言語を教え合った。

2 北米プログラム



研修先 カリフォルニア大学デービス校(アメリカ合衆国・カリフォルニア州)他
演習内容 北アメリカで多文化社会とエスニシティを考察する海外調査を行います。

対象	募集人数	日程	参加費用
地域学部1年生以上 (単位認定ありだが1年生は卒業単位には含めず)	6名程度	2月下旬～3月上旬 (約2週間)	約30万円

● 言葉の壁を超えて、人と人が通じ合う大切さを感じた。 ● 現地の大学生と話し合う中で、大学生活や将来についての考え方や取り組み方の違いを感じた。

3 インドネシアプログラム



研修先 ハムカ大学(インドネシア・ジャカルタ)
演習内容 インドネシアの多様性調査を通して、ハムカ大学日本語学科の学生と交流を行います。

対象	募集人数	日程	参加費用
地域学部1年生以上 (単位認定ありだが1年生は卒業単位には含めず)	6名程度	2月下旬～3月上旬 (8日間)	約15万円

II. 東アジアプログラム

奨学金申請可



1 中国語・歴史・文化プログラム in 厦門大学



研修先 厦門大学(中国・福建省)
演習内容 レベル別に中国語の初級・中級の2クラスを開講。また授業「中国歴史文化」の開講、フィールドワークを実施します。

対象	募集人数	日程	参加費用
地域学部1～4年生	10名程度	3月(約10日間)	約10万円

厦門大学の学生と一緒に中国語の復習や会話の練習をしたり、地域調査や食事など常に一緒に行動し、お互いに日本と中国の文化・歴史・言語への関心がさらに深まりました。

2 韓国歴史文化調査 in 梨花女子大学校



研修先 梨花女子大学校(大韓民国・ソウル市)
演習内容 授業「朝鮮王朝とソウル」などの開講、韓国の歴史文化調査を実施します。

対象	募集人数	日程	参加費用
地域学部1～4年生	10名程度	8月下旬～9月上旬 (約10日間)	約10万円

メディアでしか知らなかった韓国を自分の目で見ることができ、たくさんの刺激を受けました。なかでも韓国の人々が植民地時代の日本と韓国との関係をどのように捉えているのかを垣間見ることができ、強い印象が心に残りました。また、現地学生との交流は韓国語の学習を始めるきっかけになりました。

医学部プログラム

I 臨床実習II : フィリピン共和国国立サンラサロ病院



研修先 国立サンラサロ病院(フィリピン・マニラ市、医学部との協定締結済)
演習内容 輸入感染症について、フィリピン共和国の感染症専門病院において患者診察などの現場体験をします。

対象	募集人数	日程	参加費用
医学科6年生 【教育学習プログラム】	3～5名	7月(2週間) (日本国内での準備期間1週間を含む)	約12万円

世界でも最も多くの熱帯感染症例が入院する病院のひとつであるサンラサロ病院で小児科病棟、成人病棟で研修に参加しました。 Deng熱やレプトスピラ症、破傷風、百日咳、ジフテリアなど、今まで教科書でしか見たことのない疾患を見ることができ良かったです。また、犬や猫に噛まれた患者さんの外来や問診、結核病棟を見学しました。100床以上あっても足りず廊下まで結核患者さんが溢れており驚きました。限られた医療資源で診療しており、その中で問診・全身検査を行う難しさを感じました。どのように

疑い、診断し治療を行うのかを一つ一つ現地の先生方に教えて頂きました。実際にそれぞれの疾患の患者さんを目にすることができなければ、罹患する大変さ、過酷さを想像することは難しかったと思います。日本ではなかなか見ることのできないような疾患を診ること、また途上国との様々な違い(医療だけではなく、社会・文化の違いなど)を体験することができ大変有意義な実習となりました。

藤井 雄基 医学部医学科(2013年度入学)

II WHOなど国際保健の現場訪問



研修先 世界保健機関西太平洋事務局、フィリピン保健省、国際協力機構フィリピン事務所など(フィリピン・マニラ首都圏)
演習内容 国際保健・医療を知る機会をもち、それに従事する医師のキャリアパスについて考えます。

対象	募集人数	日程	参加費用
医学科3～5年生 【教育学習プログラム以外】	3～5名	3月(6日間) (2日の移動日含む)	約10万円

このプログラムではWHOやJICAを含めフィリピンの病院やHIVの診療の現場、保健活動等の見学を行いました。様々な国・職種の人が同じ場所で健康について考え、働く場はとても刺激的で、自分の視野を広げ、世界に目を向けることのやりがいと大切さを今一度気付くことができました。英語での

講義や意見交換は圧倒され、3年生での参加で知識も乏しい部分もありもどかしも、有意義で貴重な体験でした。またいつか成長して訪問できるように頑張りたいです。

田中 日南子 医学部医学科(2015年度入学)

III 国際保健の現場訪問



研修先 フィリピン共和国パテロス町サンタアナ保健センター(糖尿病クリニック)
研修内容 フィリピン共和国で増加している糖尿病患者の健診事業や保健教育について現場体験をします。

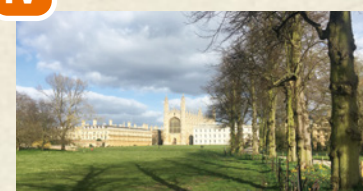
対象	募集人数	日程	参加費用
保健学科1～4年生 【教育学習プログラム以外】	3名	8月(約1週間) (2日の移動日含む)	約12万円 (自己負担分)

急速な経済成長を続ける東南アジア諸国では、感染症の問題とともに、生活習慣病が大きな問題になりつつあります。その代表が糖尿病です。教育環境が十分に整備されていないことが、糖尿病の拡大に拍車をかけています。糖尿病は教育を受けられない低所得者層の問題でもあり、フィリピン首都圏のパテロス町の糖尿病患者さんに対して、運動を取り入れたアクティビティを実施させて頂きました。日本でも実習で健康教室を実施させて頂く機会はありませんでしたが、今回は現地の患者リーダーさんと共に試行錯誤しながらプログラムを作り上げることができたとても貴重な機会でした。

また、フィリピン人の国民性も次第にプログラムに反映されていき、患者さんが今後継続していくための大切な要素であることを気づかされました。現地の国民性や風土に合わせたプログラム作りが重要であり、これは患者さんの自主的な参加に繋がることだと思いました。また、その国の文化や言語について理解を深めることは、患者さんの気持ちに寄り添うためにも重要なことだと学びました。

横田 絵梨香 医学部保健学科(2015年度入学)

IV 英国総合診療研修



研修(実習)先 英国大学(昨年度はケンブリッジ大学)、英国国内の診療所
研修内容 英国の医療制度の中で、総合診療医(General Practitioner)の果たす役割を学びます。

対象	募集人数	日程	参加費用
医学科3～6年生(予定)	6名程度	3月(8日間) (移動日含む)	約10万円 (自己負担分)

今回、イギリスのGPがどのようなものか、それが日本の医療に適合できるのかを知りたくて研修に参加しました。日本と決定的に違うと感じたのは、イギリスの方がよりエビデンスに従った医療をしておりシステムティックなことです。日本は疾患を患者個人の問題ととらえるため、可能性が低くても「万が一」のことを考えて様々な検査や治療をする傾向がありますが、イギリスでは国民全体としての費用対効果が重要視されており、エビデンスが低ければ検査治療

がされないこともあり、それを国民も納得しているようでした。GPはこのようなイギリスの医療に対する考え方の上で成り立つ制度のため、日本がそのまま取り入れても日本の医療に合致するわけではないことを、実際に肌で感じることができました。GP制度のメリットもデメリットも目にする事ができ、とても有意義な1週間でした。

吉田 つばさ 医学部医学科(2012年度入学)

工学部プログラム

I ライス大学での研究インターンシップ



研修先 ライス大学(アメリカ合衆国・テキサス州ヒューストン市)
研修内容 米国・ライス大学の自然科学系もしくは工学系研究室の一員として、数か月間、研究活動に携わります。関心のある研究分野を選ぶことができ、知識や経験の幅を広げられます。米国人学生のみならず、他国からの留学生も多数いる環境で、研究活動を通じて、専門性、英語力、社交性や積極性を高めます。

対象		
工学部3年生以上/持続性社会創生科学研究科工学専攻学生		
募集人数	日程	参加費用
3名程度	9~8月(約2か月~1年)	派遣期間によって異なる

私はライス大学のT*AFSM (Team for Advanced Flow Simulation and Modeling) において、地面近傍で非定常運動を行うデルタ翼の数値流体解析を行いました。研究や授業の内容に関するディスカッションをし、教授や先輩方にご指導いただき、難しい問題をひとつひとつ解決し、研究成果に繋げることができました。1年間の留学生活を通じて、大学関係者だけでなく、

多くの友人に出会うことができ、人生観や価値観が大きく変わりました。留学は、学生のうちに全く新しい環境に飛び込み、今後の人生の可能性を大きく広げてくれる素晴らしいチャンスだと思います。自分の可能性を信じて、ぜひ挑戦してみてください。

吉田 花那 持続性社会創生科学研究科工学専攻(2017年度入学)

II ウォータールー大学への入学体験プログラム



研修先 ウォータールー大学(カナダ・オンタリオ州ウォータールー市)
研修内容 カナダ・ウォータールー大学に短期留学し、工学部や日本語・英語授業に参加します。また日本語授業でのTA体験、サークル活動への参加、研究室訪問、学部生プロジェクトへの訪問など、北米の大学での工学系教育研究を実体験することができます。

対象		
工学部生/持続性社会創生科学研究科工学専攻学生		
募集人数	日程	参加費用
5名程度	9月(約10日間)	約20万円

- 減衰振動に関する講義を受け、現地の学生の積極的な講義への姿勢を見て自身の学習への刺激になった。
- キューバ危機について、工学とは関係なさそうな歴史の出来事をゲーム理論で考え直すことができるのは驚きだった。今後の研究内容を模索するにあたって新しい分野に触れることができ、勉強になった。

- 独立の際の時代背景や特産物であるメープルシロップ等、カナダの歴史や特色について知ることができた。日本とは違う海外の文化にふれて、日本の文化の良い点、改善した方がよい点があると思った。

参加学生コメント

III サイモンフレイザー大学での短期研修(研究型)プログラム



研修先 サイモンフレイザー大学
研修内容 カナダ・サイモンフレイザー大学の応用科学部もしくは応用科学部協力研究室のなかから関心のある研究分野を選び、その研究室に所属し、研究活動に携わります。最先端の研究ができる環境であり、英語力も高めます。大学所在地であるバンクーバー地域も治安や経費の面で魅力的な場所です。

対象		
工学部生/持続性社会創生科学研究科工学専攻学生		
募集人数	日程	参加費用
3名程度	8~7月(約2ヶ月~1年)	派遣期間によって異なる

留学した当初は専門英語はもとより、日常会話すらもともにできない状況でした。このような状態で、研究を進めることは非常に困難で何度も行き詰りました。そのような時は必ず先生やラボのメンバーがわかるように説明してくれ助けてくれました。日常生活でも、ホストファミリーやルームメイトのおかげで

不自由なく生活できました。ゼロから始めた研究でしたが、多くの人の支えのおかげで、シンポジウムで発表するまでに至りました。多くの人に感謝の気持ちで一杯です。非常に貴重な経験と充実した日々を送れた一年間でした。

参加学生コメント

農学部プログラム

I 国際乾燥地農学実習



研修内容 タイとメキシコを舞台に、乾燥地や開発途上地域における持続的農業生産、農産物流通、砂漠化対処、砂漠緑化および環境保全に関する知識と技術を習得し、海外における農学の幅広い知見を得ることができます。

奨学金申請可

1 メキシコプログラム

研修先 メキシコ北西部生物学研究センター(メキシコ合衆国・南バハカリフォルニア州ラパス市)他

2 タイプログラム

研修先 コンケン大学農学部、ウボンラチャタニ稲作研究センター(タイ王国・コンケン県)他

対象		
国際乾燥地農学コース2年生		
募集人数	日程	参加費用
各15名程度	2月~3月(約1か月)	約20~30万円

私にとって初めての海外でしたが、すごく貴重な体験になりました。この実習では圃場を訪問し、インタビューを行い、市場調査を行いました。現地の農業は乾燥地コースで学んだことと酷似しており、授業の内容を実際にみることで、実感することができました。また、授業ではわからない乾燥

地ならではの農業を見学させていただき、乾燥地での農業についての興味がさらに強くなり、自分も乾燥地の農業のために何かしたいと思うようになりました。

中西 彩歌 農学部生物資源環境学科(2015年度入学)



II 東南アジア熱帯域における菌類科学フィールドワーク



研修先 コンケン大学理学部、ウボンラチャタニ大学理学部(タイ王国・コンケン県、ウボンラチャタニ県)

研修内容 東南アジア熱帯域の未活用遺伝資源であるきのこ類に着目し、森林でのフィールドワーク、室内実習を実施します。現地の研究センターやきのこ農場の視察をします。研修は英語で行い、現地の学生も参加します。

奨学金申請可

対象		
農学部生/持続性社会創生科学研究科農学専攻学生		
募集人数	日程	参加費用
15名程度	8~9月頃(約10日間)	約15万円

コンケン大学における菌類研究紹介、実地での採集並びに同定作業、また多様なキノコの栽培施設への訪問及びその紹介と、日本と異なる環境と菌の生態・技術・設備を目で見て手で触れる機会にあふれたプログラムでした。全て英語による会話であるため、必死に理解しようと努めたことも知識の獲得に

つながったと思います。実際に現地生活することでその地域の風習や文化を知ることで日本国内だけにしかなかった自分の価値観が大きく開けていく実感を得ることができました。

加藤 颯一郎 農学部生物資源環境学科(2015年度入学)



III 英国・ケンブリッジ大学との獣医学臨床研修プログラム



研修先 ケンブリッジ大学(英国・ケンブリッジ市)
研修内容 獣医療先進国かつ動物愛護の最先端国である英国において、現地の臨床ローテーション実習に参加します。最先端の診断・治療に関する講義および実習をはじめ、飼い主へのインフォームド・コンセントなど、充実した獣医臨床教育に触れることができます。

対象		
共同獣医学科5年生		
募集人数	日程	参加費用
5名以内	2月(約10日間)	約25万円

研修には、欧米の先進的な獣医学教育を体験してみたいという思いから参加し、大学付属動物病院において様々な診療やセミナーを見学しました。ケンブリッジ大学では、学生が「考える」ことに重点を置いた臨床教育体制が整っていました。また、学生が主体となり熱心に議論している様子に非常

に刺激を受けました。この研修を通して、日本の獣医学教育や自分自身の課題を外からの視点で見つめなおすことができ、とても有意義な経験になりました。

黒坂 紗衣 農学部獣医学科(2012年度入学)

